



平成 25 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 吉田 明
(コード番号 5911 東証第 1 部)
問合せ先 経 理 部 長 宮 本 英 典
(T E L 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 7 月 30 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,000	1,750	1,800	1,150	26.63
今回修正予想 (B)	41,000	3,270	3,250	1,770	40.99
増 減 額 (B - A)	△2,000	1,520	1,450	620	—
増 減 率 (%)	△4.7	86.9	80.6	53.9	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	40,868	1,642	1,662	680	15.58

2. 修正の理由

売上高につきましては採算の厳しい一部大型工事の工程のずれ込み等により当初予想を若干下回りますものの、橋梁事業とエンジニアリング関連事業の利益率向上により、当第 2 四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益が当初予想を上回る見通しとなりました。橋梁事業につきましては好調な受注により採算性の良い工事の生産比率が高まったことに加え、原価低減と設計変更増の獲得に引き続き注力した結果、当第 2 四半期に竣工した工事を中心に、想定を大きく上回る損益の改善を図ることができました。エンジニアリング関連事業につきましては、システム建築事業の業績が第 1 四半期を上回り、さらに一般の建築事業におきましても幾つかの建築工事で損益の改善を図ることができました。

なお通期業績予想につきましては現在精査中であり、平成 25 年 10 月 28 日に予定しております平成 26 年 3 月期第 2 四半期決算発表時にお知らせいたします。

以上

(注)上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご留意ください。